

秋の読書散歩



箱古本市
はな-に?

参加者が小さな箱に売りたい本を入れて販売する古本市。各会場の店主や周りの方々と作り上げる期間限定の小さな古本屋をお楽しみください。掘り出し物…あるかも!

一言道案内だよ。

- 秋に読みたい一冊
- 箱古本市
- 展示・イベント開催
- ワークショップ
- 読書におすすめスポット

茅ヶ崎、辻堂、藤沢の、本が好きな静かな商店が、秋の読書週間に、本にまつわる小さなイベントを開催します。

地図を片手に、新たな出会いがたくさん待っている読書散歩。

夏の湘南とは趣きの異なる、しっとりとした秋の街歩きをお楽しみください。



ご当地作家

開高健

1930-1989
小説家。ウスキーのコピーライターとしても知られる。新聞社の臨時特派員としてベトナム戦争へ。食・酒・釣りに造詣が深く、世界を旅したエッセイを残す。後半生16年間を過ごした茅ヶ崎市に記念館が開設されている。

BRANDIN 秋の読書&music

秋の気配を感じる頃、BRANDINの出窓に毎年きまつて飾るレコードがあります。イーヴィ・サンズの「Any Way That You Want Me」。秋晴れの丘の小道を自転車で駆ける姿に、私も普段なら車で出かける場所にも「よし今日は自転車で行こう」なんて思ったり。すると初秋の街にいろいろな発見があったりします。10月にはクレア・ハミルの『October』。英国はもうすっかり秋色なのでしよう。白地に淡いブルーが滲んだジャケットの裏には、林の中コートとブーツ姿ではやく彼女の姿が。読書しながらの店番にぴったりのBGMです。秋も深まる頃にはアーニー・グレアムを。色づいた葉を背にタバコをふかす彼のポケットには、きっとペーパーバックが1冊入っているのではと思うのです。

(BRANDIN / 宮治ひろみ)

シネコヤの秋のCINEMA選

太陽サンサンテンション高めな夏から、秋になると「ふう〜」っと一息つく。少し自分のための栄養の時間をつくりたくなります。そんな秋にピッタリの、映画を3本。「芸術の秋」を感じられる『真珠の耳飾りの少女』。スカヨハのため息の美しいこと。心地よい音楽で体と心を癒やしたいなら『シーモアさんと、大人のための人生入門』。シーモアさんの語る言葉、鍵盤を静かに叩く音、ペダルを踏む音、その一音一音が心に沁みわたります。そして、この読書散歩の季節に観てほしい『マイブックショップ』。1ページ1ページゆっくりとめくるようにシーンが変わります。映画をお供に、秋のゆったりとした時間をお過ごしください。

- 『真珠の耳飾りの少女』2003年 / 100分 / イギリス
- 『シーモアさんと、大人のための人生入門』2014年 / 81分 / アメリカ
- 『マイブックショップ』2017年 / 112分 / G / スペイン

(シネコヤ / 竹中翔子)

ご当地作家

かこさとし

1926-2018
絵本作家、児童文学者、工学博士、科学技術士。
からすのパン屋さんやだるまちゃんシリーズなどロングベストセラーの絵本で知られる。人間、かわ、宇宙など科学視点の作品も。藤沢駅周辺で複製原画が10月末頃まで展示中。

